

レジメン名称(イリノテカン + ベクティビックス(Pmab) q2w)

大腸がん

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 2 週間	
		Day 1.....15(=Day1)	
ベクティビックス	6 mg/kg	↓	
イリノテカン	150 mg/m ²	↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方

皮膚障害予防：ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3% (ヒルドイドソフト) 2本 1日数回

血清 Mg 測定 (3ヶ月に1回以上)

必要時 (制吐剤予防投与)：day2～：デキサメタゾン (デカドロン) 4～8mg 1×朝 2日間 内服

注意事項

ベクティビックス：インフージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

ベクティビックス初回および8週以上あいた時：投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり

投与方法：1日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、メインルートを止める
2	ボララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A ゆっくり、下の側管から投与
3	グラニセトロン 3mg/100mL 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30分かけて点滴、メインルートから投与
4	生食 50 mL 100mL/時で、15分間、残破棄可、メインルートから投与
5	ベクティビックス _____ mg , 生食 100mL 60分かけて点滴、メインルートから投与 初回および8週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、搔痒感、気分不良、嘔気)
6	生食 100 mL 100mL/時で、15分間、メインルートから投与 終わったらメインルートを止める 残りは最後のウォッシュアウトに使用
7	イリノテカン _____ mg , 生食 250 mL 90分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
8	6の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄